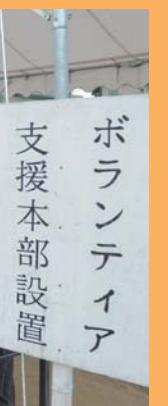




ともに暮らす

人と人



支え合いの輪が広がっています。 岩倉市の介護予防事業

「おはようございます」と元気に会場に集まるお年寄りたち。岩倉市では2006年の介護保険制度改革を契機に、予防により重点を置いた取り組みを進めています。そこで始まったのが介護予防教室。対象は65歳以上のお年寄り。広報や口コミで広がって、参加者は年々増加しています。

「介護予防」というと、運動だと思われるかもしれません。私たちは、日常生活のなかでの興味・関心、気持ちの持ち方などすべてが予防につながると思っています」と話すのは、地域包括支援センターの水野晴子保健師。だからプログラムも手話やフラダンス、いざという時どうするかという防災の話など多彩で、講師は地域の人たちにボランティアとしてお願いすることもあります。

「教えていると逆に元気をもらう」と講師の人たち。自分たちの活動が地域のお年寄りを支え、それが活動の励みになる支え合いの輪があります。コンパクトなまち・岩倉ならではの顔の見えるつながりが生まれています。

いざじん! 地域を守るためにできること。

岩倉防災ボランティアの会

近い将来、必ず起こると言われる東海地震。岩倉が大地震で大きな被害を受けた時、かけつけたボランティア活動希望者と応援を求めている人を「結ぶ」役割を担おうと、主婦、会社員、退職後の人など21名で結成されました。通常は、定期的な会議などをしながら、ボランティア支援本部の設置訓練、地域や小学校で防災講習を実施しています。

「まずは困っている時、気軽に応援を頼む場所があることを覚えておいてほしい。その上で自分の命は自分で守る、それができてこそ地域を復興させる力になる」と代表を務める若杉賢司さん。日ごろからの備えとコミュニティのつながりの大切さを訴えます。“その日”が来ないことを祈りつつ、いざという時に力を発揮できるよう、意識を高めています。



気づき、思いやる。育む 「心のユニバーサルデザイン」

いわくら・ ユニバーサル デザイン研究会

「すごいよ、いつものハサミと全然違う」。市内の小学校で開催される福祉実践教室で、ユニバーサルデザインの文具を体験する子どもたち。「年齢や性別を問わず、高齢者や障害者を含めたすべての人にとって安心・安全で暮らしやすいまちづくり、ものづくりをしよう」というユニバーサルデザインの理念のもと、『互いを思いやる心豊かないわくら』をめざして活動を続けています。



子どもたちや保護者といっしょに駅や公共施設を回わる『市内探検』。「自転車がここにあると目の不自由な人に迷惑だね」、「車いすマークの駐車場はなぜ広いのかな?」。会の人たちは、子どもたちがまちに目を向け、そこに暮らすさまざまな立場の人を思いやれるように、関心を引き出していく。『実際、子どもたちの指摘で改善された事例もあるんです』と会長の大野代志子さん。岩倉をもっと人にやさしいまちにするために、未来の岩倉市民と向き合っています。また、市と協働で岩倉駅東西広場の開発での意見交換などに協力をしています。



市民活動をつなげて 岩倉をもっと魅力的に。

NPO法人ローカルワイドウェブいわくら

ボランティアグループや自治会の会議・資料づくり、情報交換など、公益的活動や地域自治活動を行う市民が気軽に集まる場所が市民活動支援センター。その管理運営を行うのが、ローカルワイドウェブいわくらです。パソコン講師が中心になって結成した市民団体で、NPO法人化をきっかけに、より広く市民団体同士のネットワーク化を図り、岩倉のまちづくりを楽しく活発にすることをめざしています。

現在、市民活動支援センターに登録している約200の団体の活動状況を把握するためのデータベースを作成しています。活動情報を知らせるメール便を送ったり、まずは横のつながりをつくることから始めています。

「小さくても特色ある市民団体が集まれば力になる。私たちは100人の団体をつくるのではなく、10人の団体を10ネットワークすることをめざしているんです」と理事の岸真澄さん。また得意のICT(情報通信技術)分野を生かして、岩倉市とともにヒューマンリンクシステムの運用にも取り組んでいます。

Vamos viver juntos



Living together

The Care Prevention Class is one of the city's efforts to prevent elderly citizens from needing nursing care. Members of local volunteer groups instruct senior citizens in hula dancing, sign language, and other hobbies and skills. The Disaster Prevention Volunteer Coordinators group gives lectures to communities and elementary schools. The Society for Universal Design teaches children the idea of designing tools and buildings friendly to everyone. Teaching and supporting one another are some of the experiences that motivate members of volunteer groups. Local Wide Web, the organization that runs the Civil Activity Support Center, is seeking to encourage civil activities in Iwakura by connecting small groups within the city.

Aula de Prevenção de Enfermagem é uma atividade para se prevenir e não necessitar de enfermagem. Participantes do grupo local de voluntários, na posição de instrutores, ensinam dança havaiana, linguagem de sinais, etc. A Associação de Coordenadores Voluntários de Prevenção contra Desastres dá aulas de prevenção contra desastres nas escolas primárias e na comunidade local. O Grupo de Estudos de Desenho Universal ensina para as crianças como são as construções/objetos fáceis de usar por qualquer pessoa. O fato de ensinar, de um ajudar o outro, torna-se também um estímulo para os grupos voluntários. O Local Wide Web – administrador do Centro de Apoio às Atividades Civis – objetiva dar vitalidade às atividades civis de Iwakura conectando pequenos grupos civis, uns aos outros.